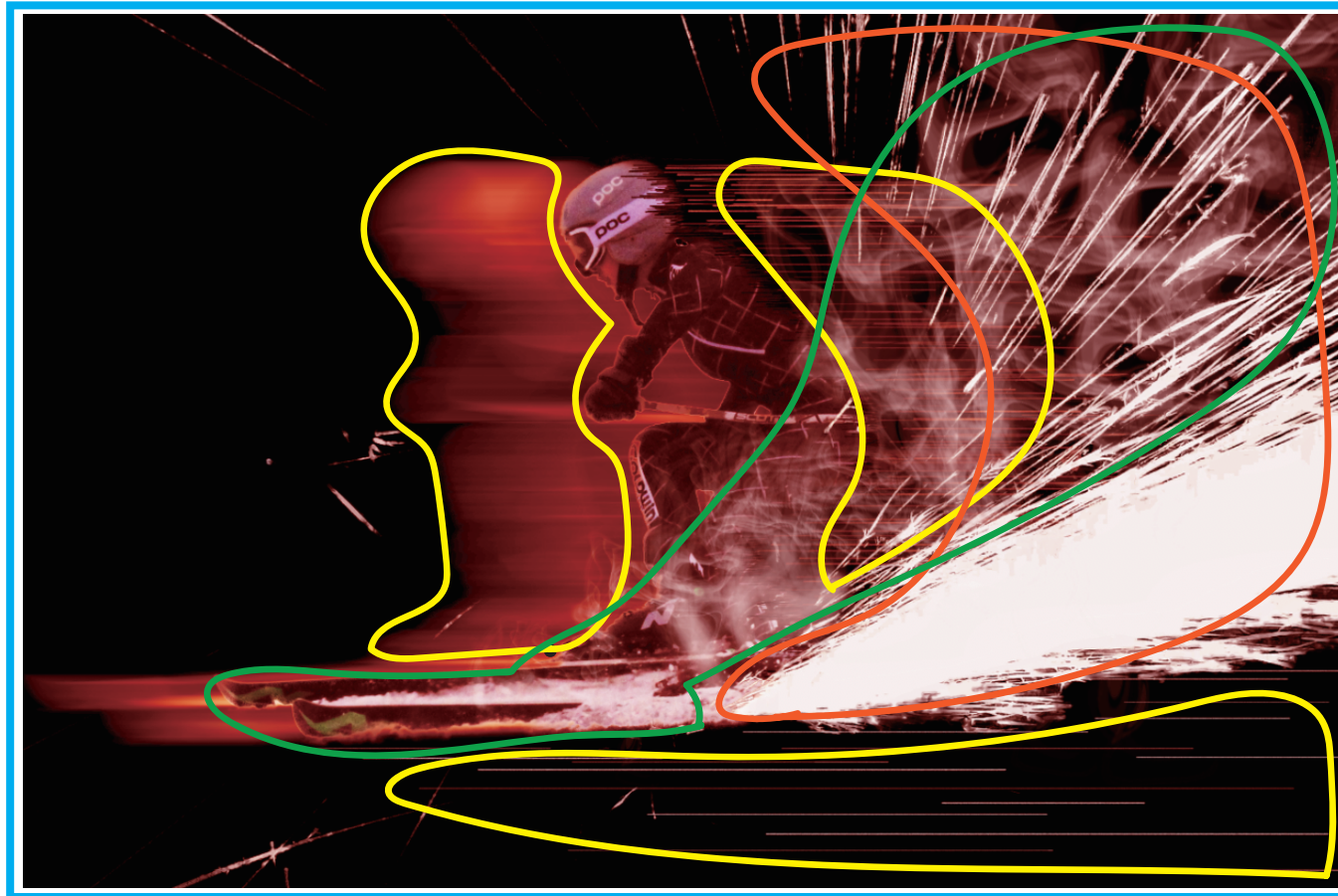


板から感じる重力や遠心力を表現するために炎のような赤をメインカラーに選びました。

素材それぞれにエフェクトをかけた後に全体にエフェクトをかけたことによって、それぞれ素材感を感じる色にした上で、全体の統一感も出すことができたと思います。

スピード感を表現するために、赤い線やぶれている体を配置しました。ぶれている体だけ最初は配置していましたが、体感しているスピード感を十分に表現できていないと感じたため様々な太さで直線を描き加えました。



エネルギーが板の側面に集中していて熱くなっていることをより表現するため色が赤く溶けているような加工をし、そこから煙が上がって見えるよう煙を加えました。実際にスキーで滑る際は、包丁のように鋭い板の側面が氷との摩擦で削られています。そのくらいのエネルギーがあることを感じてもらえる作品になるよう心がけました。

溶接時の火花は、火花の方向や数にリアル感がないと迫力に欠けると感じたのでフリー素材から切り抜いて使用しました。写真を選ぶ際は、迫力があって、写真の合成に適している形のものを選びました。